

第1回数珠つなぎインタビュー「自然と文化の森協会」さんよりご紹介いただきました。

NPO法人まいどいんあまがさきとは…?

兵庫県尼崎市園田地区で障害者の自立支援に関する事業の他、スポーツ、文化、まちづくりの推進活動などにも取り組んでいる団体です。毎月開催されている「藻川クリーン作戦」の他、「環境学習」、「地域作業所交流」など、地域をつなぐさまざまな活動をしています。

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~amanet/index.html>

藻川クリーン作戦

- 日時: 毎月第3水曜日
午後1時～2時半頃まで
- 場所: 藻川
(中園橋付近に集合)



「藻川クリーン作戦」を始め、この活動は素晴らしいと思いましたが、自分たちで改善できること

最初は、内輪でゴミを拾っていました。最初は、近所の障害者施設などに活動紹介をし、声をかけました。そこからどんどん輪が広がりました。

子ども達に川を通じて伝える

見市 小学校3年生の環境学習もまったく同じ内容で7年間させてもらっています。夏の藻川は、約145名の子どもの学校からこの堤防沿いを歩いてくるので、まず、ゴミを拾ってもらう事から始めます。最初は乗り気ではないのですが、宮園橋から中園橋までの間で、段々とゴミ拾いに夢中になり、「どうしてこんなにゴミが落ちているの?」、「誰が捨てているの?」と子ども達の気持ちが変わっていきます。

僕たちは、子ども達に「気づき」を伝えたいのです。ゴミを拾うという意味合いを分かってもいい、自分自身は捨てない」という思いが、どこかで芽生えてもらえればいいと思います。

この環境学習が、全く知らない世代がつながるきっかけになればと考えています。

第2回 数珠つなぎインタビュー

猪名川流域の活動団体を数珠つなぎ形式で紹介しします

「自然と文化の森協会」とは、猪名川クリーン作戦での活動を通して交流がスタートし、ともに川で活動する「NPO法人まいどいんあまがさき」の理事長である見市さんに、インタビューを行いました。

川と地域をつないで8年

川で活動を始められたきっかけは何ですか?

見市さん(以下、見市) 川のことは無知でしたが、活動に参加してみると意外と楽しいなと思いました。こんな川がある、漁業があると自然の流れで興味を持ちました。また、猪名川のクリーン作戦に参加し、この活動は素晴らしいと思いましたが、自分たちで改善できること

は改善していこうという姿勢でやっている8年経っていました。

最初は、内輪でゴミを拾っていました。最初は、近所の障害者施設などに活動紹介をし、声をかけました。そこからどんどん輪が広がりました。

子ども達に川を通じて伝える



見市 小学校3年生の環境学習もまったく同じ内容で7年間させてもらっています。夏の藻川は、約145名の子どもの学校からこの堤防沿いを歩いてくるので、まず、ゴミを拾ってもらう事から始めます。最初は、乗り気ではないのですが、宮園橋から中園橋までの間で、段々とゴミ拾いに夢中になり、「どうしてこんなにゴミが落ちているの?」、「誰が捨てているの?」と子ども達の気持ちが変わっていきます。

僕たちは、子ども達に「気づき」を伝えたいのです。ゴミを拾うという意味合いを分かってもいい、自分自身は捨てない」という思いが、どこかで芽生えてもらえればいいと思います。

この環境学習が、全く知らない世代がつながるきっかけになればと考えています。

「藻川クリーン作戦」に参加しました!

河川レンジャーより

私達も、「毎月決まった日に活動を行いますよ」という発信をしていこうと思いました。通る人にも「この時間帯にここで活動していますよ」というぐらいでやってみます。

ご協力ありがとうございました。

植原レンジャー
佐藤レンジャー協力員

数珠つなぎ ご紹介

今回は、「猪名川漁業協同組合」です。

だれもが参加しやすい活動

地域とのつながりを生かして活動をされていますが、活動の秘訣は?

見市 障害者問題も自然環境問題も、解決に向かうには、人とのつながりが大切だと思います。社会には、いろいろな問題がありますが、その問題に対して特殊な活動にしようという、一般の方は参加しづらくなってしまう。そうならないために、一人一人に「ゴミが落ちているので拾いませんか?」というように問いかけていきます。みんなが参加しやすい活動・運動の形を新たに工夫していくことが大事です。



「NPO法人 まいどいんあまがさき」理事長 見市さん(写真左)

「どうすれば、多くの方が集まってくれるのでしょうか?」

見市 みなさんがおもしろいと思えることであれば集まってくれると思います。また、発信は一番大事です。こういった活動をやっているという姿を見せることはとても大事です。「難しいのでお任せします」と言われないうちに、常にみなさんに伝わるように心がけて説明しています。そのおかげで「会社で参加してボランティア活動をした」という問い合わせもありました。

何かに固執して何かをするのではなく、「交流」で人とのつながりをつくる。障者のことだけをするのではなく、いろいろなことに興味を持ち、他分野の団体とも交流しながらお互いの問題を地域で協力して解決していくことが大切だと思っています。最終的な夢は、この地域がもつともっと大きくなって他の地域のモデルケースのひとつになれればと思います。

第3弾

猪名川のい〜な!

入賞作品決定!

今回は、応募者63名。応募作品は、写真36点、絵画27点。その中から、猪名川の魅力を表現した写真・絵画あわせて7点が、入賞作品に選ばれました。

たくさんのご応募、
ありがとうございました!



『猪名川とエドヒガンと子供達』 則久 正志さん

〜猪名川河川レンジャーからのコメント〜
おだやかな猪名川に赤いツバキの花を浮かべ遊ぶ子どもたち、そのむこうには大きなエドヒガンの桜が満開です。春の猪名川の楽しさが伝わってくるようです。岸辺でゆったり遊ぶ子供たちに焦点をあて、桜を背景に添えたのがポイントになりました。また、川を中心に画面右端で一点に収束する構図も安定感があり、画面を引き立たせました。

猪名川河川レンジャー賞



『いくよ〜』 藤田 恵子さん

〜猪名川河川レンジャーからのコメント〜
華やかで、川遊びの楽しさと躍動感が感じられます。なお、もう少しカメラ位置を低くしてみたらおもしろいと思います。



『トンボさんがいっぱい♪』 鈴木 暁くん

〜猪名川河川レンジャーからのコメント〜
川のそばには大きな草や小さな草が生えていて、きれいな猪名川にトンボがいっぱい飛んでいたんだね。川もトンボも生き生きと描かれていて、虫取り網で一瞬懸命トンボを追っている様子がよくわかりました。すごく楽しく、明るい絵になりましたね。楽しさが伝わってきます。



『カワセミを見たよ!!』

上田 恵ちゃん

〜猪名川河川レンジャーからのコメント〜
猪名川にいるカワセミを、とても力強く描かれている。カワセミのオレンジ色の胸がキレイで魅力的な作品です。



『蛍がいっぱい』 中村 仁清くん

〜猪名川河川レンジャーからのコメント〜
暗やみに無数に光るホタル!! みんなに見せてあげたいね。こんな川を守ってきたい。

猪名川河川事務所長賞



『子どもと一緒に知恵と人力でゴミ渡し』
猪名川まもり隊さん

〜猪名川河川事務所長からのコメント〜
猪名川まもり隊が一体となって活動されているのがよく表現されている作品です。



『水が気持ちいいよ!』 長田 空ちゃん

〜猪名川河川事務所長からのコメント〜
子どもたちが川の中でバラエティに富んだ遊び方をしているのが、よく表現されている作品です。

作品展と表彰式を行いました!

猪名川流域の3会場で作品を展示しました。

- ・イオンモール伊丹 (平成26年11月4日〜11月7日)
- ・池田市役所 (平成26年11月26日〜12月2日)
- ・イオンモール猪名川 (平成26年12月4日〜12月8日)



イオンモール伊丹



池田市役所



イオンモール猪名川



表彰式に出席していただいた入賞者のみなさんと記念撮影
平成26年12月20日 池田商工会議所にて

猪名川における環境啓発活動などに取り組んでいる大学生や子どもたちも参加する『猪名川水環境交流会』の場で、表彰式を行いました。入賞者には表彰状と副賞が授与され、入賞作品をスライドに写して紹介しました。